

報道関係者各位

2026年1月23日 Team Ocean

海中旅行の夢を追う起業家・米澤徹哉の命を繋ぐ——Team Oceanが移植手術費用のクラウドファンディングを開始

「おかん、やっぱり肝臓ちうだい」母の肝臓を移植し肝硬変と闘いあと10年生きたい

Team Ocean(米澤徹哉のサポーター有志)は、末期の肝硬変と闘う起業家・米澤徹哉の生体肝移植手術費用および事業再開を目的とし、目標金額2,000万円のクラウドファンディングを開始いたしました。誰もが安全に海の中を旅できる世界を目指し、潜水艇「Seaballoon」の開発に人生を懸けてきた米澤徹哉の命を繋ぎ、再び中断された夢の続きを挑戦するためのプロジェクトです。

URL: <https://for-good.net/project/1003101>



■プロジェクト背景:冒険家の命と「海中旅行」の夢を救う

「Team Ocean」は、一人でも多くの人に海の素晴らしさを届けるべく、次世代潜水艇「Seaballooon」による海中旅行事業の実現を目指してきた起業家・冒険家の米澤徹哉(愛称:キャプテン)を応援する有志の集まりです。

SeaballooonPV:<https://www.youtube.com/watch?v=QiYGdEonLX8>



現在、米澤は末期の肝硬変を患い、生存のためには実母からの「生体肝移植」が唯一の道となっています。病魔により事業も中断を余儀なくされていますが、米澤は「あと10年生きて、必ず海中旅行を実現したい」と前を向いています。私たちTeam Oceanは、彼の命を繋ぎ、再び海へと戻る日を支えるために本プロジェクトを立ち上げました。

■現代社会の盲点「隠れ肝硬変」——誰もがなりうる現代病

「肝硬変は高齢者やお酒の飲みすぎによるもの」という認識は、もはや過去のものです。現在、国内の肝硬変患者数は40～50万人にのぼると推計され、年間約1.7万人が命を落としています。

*参考:「肝がん白書2015(日本肝臓学会発行)」「平成23年患者調査(厚生労働省)」

特に近年、飲酒習慣や体型に関わらず進行する「隠れ脂肪肝」からの重症化が深刻な社会課題となっています。不規則な食事、急激なダイエット、睡眠不足、そしてストレス等、現代社会で避けがたい生活習慣が引き金となり、自覚症状がないまま静かに進行するのが肝硬変の恐ろしさです。つまり、肝硬変は「特別な人の病気」ではなく、生活習慣や環境と深く結びついた、極めて現代的な病気だということです。本プロジェクトを通じ、一人の命を救うと同時に、働き盛り世代が自身の健康を顧みる契機となることを願い私たちTeam Oceanは啓発していきます。

■クラウドファンディングの概要

- プロジェクト名：「おかん、やっぱり肝臓ちょうどいい」母の肝臓を移植し肝硬変と闘いあと10年生きたい
- 目標金額：20,000,000円
- 資金の使い道：生体肝移植手術費／入院費／術後治療費／生活支援費 等、および手数料7%、税金50%含む
- プロジェクトURL：<https://for-good.net/project/1003101>

■メッセージ

Team Oceanより

米澤徹哉が語る「海の中の素晴らしい景色」を、私たちはまだ見ていません。子供からシニアまで、誰もが宇宙旅行のように海中を楽しめる未来。その夢の火を消さないためには、今、彼の命を守ることが不可欠です。一人の冒険家の命と、日本の技術が詰まった「海中旅行」の未来を、どうか皆様と一緒に守らせてください。

米澤徹哉より



40歳で、余命宣告を受けました。

10年間かけて準備してきた海中旅行事業「Seaballoon」が、いよいよ形になろうとしていた、その矢先のことでした。

末期の肝硬変と診断され、現在、生きるために生体肝移植しか選択肢がない状況です。正直に言えば、最初は「なぜ今なのか」と、現実を受け止めきれずにいました。

それでも今、私は強く思っています。

もう一度、生きたい。

そして、子どもから高齢者まで、誰もが安全に海の中を旅できる未来を、必ず実現させたい。

この挑戦は、私ひとりのものではありません。母が命の一部を差し出す覚悟をしてくれました。そして、仲間たちが「一緒に生きて、夢の続きをみたい」と、Team Oceanとして手を差し伸べてくれました。

本来であれば、すべて自分の力で乗り越えるべきことかもしれません。それでも今は、多くの方の力を借りながら、命と向き合う選択をしました。

このクラウドファンディングは、単なる資金集めではありません。一人の人間が、もう一度未来に進むための決断であり、同時に、肝硬変という「誰にでも起こりうる病気」を知っていただくなきかけでもあります。

もしこのリリースが、誰かが自分や身近な人の健康を見つめ直す契機になるなら、それだけでも、この経験には意味があると信じています。

どうか、私の挑戦を見届けてください。

そして、もう一度海へ戻る日まで、力を貸していただけたら幸いです。

米澤 徹哉

【本件に関するお問い合わせ先】

Team Ocean 事務局

Email: contact@teamocean.life

SNS: https://x.com/tetsu_yoone

※米澤徹哉のこれまでの活動や、病状、移植手術に関する詳細な取材も隨時受け付けております。